



紫波中央駅前を華やかに彩る イルミネーション点灯式



イルミネーションを背に美しい歌声を披露する
紫波一中合唱部の皆さん

「光のページェント安心の街灯り2016・紫あ波セルミエール」点灯式と年末年始地域安全運動出発式は12月15日、紫波中央駅のロータリーで行われました。紫あ波セルミエールは毎年1月に開催していた紫波冬まつりに代わるもので、関係者約100人が見守る中、例年より一層華やかになったイルミネーションが点灯。紫波第一中学校合唱部の生徒18人がクリスマスソングを披露した後、町防犯隊の高橋吉見隊長が「安全で安心して暮らせる地域社会の実現を目指し、地域安全活動へ出発します」と申告。関係者に見送られながら、各地域へパトロールに向かいました。イルミネーションは1月までの間、日没から午後10時まで点灯します。

美しい歌声響く 不来方高校音楽部 クリスマスコンサート

不来方高校音楽部クリスマスコンサートは12月18日、野村胡堂・あらえびす記念館で開かれました。ホールには、平成27・28年の全日本合唱コンクール全国大会で文部科学大臣賞を受賞した美しい歌声が響き渡り、来場した人々は大きな拍手を送っていました。また、中盤には彦部小学校の4～6年生19人と紫波第二中学校の生徒3人、彦部公民館のコーラスサークルの皆さんが『365日の紙飛行機』などの合唱を披露しました。彦部地区の佐藤とし子さんは「知っている歌がたくさんあり、楽しむことができました。不来方高校音楽部の合唱は初めて聞きましたが、とても感動しました」と満足の表情でした。



このコンサートは彦部地区教育振興運動実践協議会が主催し、今年で15回目の開催となりました

情報交流館の来館者が150万人を達成

平成24年6月にオープンした情報交流館の来館者が12月3日、150万人を達成しました。150万人目の来館者は、図書館に訪れた彦部小学校5年生の佐藤琴梨さんと3年生の百笑さん姉妹。琴梨さんは「図書館にはたくさんの本があって楽しいです」、百笑さんは「150万人目になってびっくりしました。月に1回は図書館に来て、お気に入りの名探偵の本を借りています」と笑顔でした。佐藤さん姉妹には、熊谷町長から産直「紫波マルシェ」の商品券が手渡されました。



熊谷町長(左)と一緒にくす玉を割った
琴梨さん(中央)、百笑さん(右)

「みんなで明るいお正月を」 歳末助け合い演芸会



町婦人会役員たちによる「水戸黄門再来町の巻」的一幕

町連合婦人会(瀬川智子会長)主催の第47回歳末助け合い演芸会は12月4日、中央公民館で開かれました。訪れた約400人は、同会各地区婦人会による踊りや劇のほか、ボランティアで出演した紫波童謡の会、町カラオケ同好会、町観光案内人しゃ・べる、健康サークルによる体操など盛りだくさんの発表を楽しんでいました。水分地区から訪れた菅川寛之さんは「初めて見に来ましたが、詐欺被害防止のための啓発なども交えていて、素晴らしい取り組みだと思います」と話していました。

記念すべき第50回 町芸術祭記念式典



芸術祭記念式典に参加した皆さん

部 門	賞 名	氏 名	部 門	賞 名	氏 名
俳句	芸術祭賞	福山美枝子	川柳	芸術祭賞	鷹 嘴 関 雄
	優秀賞	吉田睦詠		優秀賞	畠山 勇子
	奨励賞	福山美枝子		奨励賞	水分小学校
短歌	芸術祭賞	高橋 茂	盆栽	芸術祭賞	佐藤 博
	優秀賞	赤川 秀子		優秀賞	藤原 隆夫
	奨励賞	佐々木さやか		奨励賞	神原 康彦

(敬称略)



「芸術や文化は、時には食べ物以上に大切なもの」と話した板垣さん

第50回紫波町芸術祭記念式典と記念講演が12月10日、情報交流館で開かれました。展示部門の受賞者に表彰状が手渡された後、芸術祭への長年の功績をたたえ、下脇良夫さん、藤原長悦さん、森田朋子さん、菊池一政さんに感謝状が手渡されました。

続く記念講演では、花巻市にある「るんびにい美術館」のアートディレクター板垣崇志さんが「みんなで創り、みんなで生きる」と題して講演。障害の有無に関わらず、人間にとって表現することがいかに大切かというお話に、参加した約100人は時折うなずきながら聞き入っていました。

芸術祭展示部門の受賞者は左表のとおりです。

町認定農業者連絡協議会が岩泉町へ町産米200kgを贈呈

町認定農業者連絡協議会(高橋^{かつし}淳会長)は12月1日、台風10号で甚大な被害を受けた岩泉町へ、町産のお米200kgを支援物資として届けました。「岩泉町では災害から3カ月以上経った今でも、多くの方々が避難所生活をしていることや精米所がほぼ全壊したことを聞きました。何か支援はできないかという思いから、会員の協力を得て、精米したお米を届けることになりました」と高橋会長。支援物資を受け取った岩泉町の担当職員からは「12月に入っても多くの方々が避難生活を送っている中、主食となるお米を届けていただき、とてもありがたいです」と感謝の言葉がありました。同会はこの他に、義援金を送る予定です。



高橋会長(左)から岩泉町教育委員会総括室長の三上さん(右)に支援物資が手渡されました



熊谷町長(右)と藤原副町長(右から2番目)に鏡餅を手渡した岩館則雄部会長(左)と北條金一志和支部長(左から2番目)

明るい新年を願い 町産の鏡餅贈呈

JAIいわて中央もち米生産部会紫波支部(岩館則雄部会長)は12月28日、町内の農家が生産したヒメノモチ100%の鏡餅を町に贈呈しました。鏡餅を受け取った熊谷町長は「皆さんが丹精込めて作ったもち米で、こんなにも大きな鏡餅を贈呈いただきありがとうございます」と感謝の気持ちを述べました。鏡餅は12月28日から1月6日まで役場庁舎の中央玄関付近に飾られ、新年の幕開けに花を添えました。